

一問一答方式による一般質問



部活動の地域移行

須藤 功



**問** 部活動を学校単位から地域単位に変えていく、段階的に地域単位の運営にしていくことで間違いないか。

**生涯学習課長** 令和4年11月に公表された国のガイドライン案によると、学校教育の一環である学校部活動を、社会教育として地域クラブ活動へ移行することが示されています。

**問** ガイドラインには令和5年度以降、休日の部活動は段階的な地域移行を図るとある。令和7年に決めるが今の段階でこうしなさいという指針はない。いろいろなことをやってみてくださいという段階だと思いが、その見解で間違いないか。

**生涯学習課長** 国の方でもいろいろとやり方を模索している最中で、令和3年度から国の補助事業として、いろいろな試行事業を各地で行っている状況です。詳細については案が出てくるものと、私どもとしては考えています。

**問** 市内の中学校部活動の状況はどのようになっているか。

**生涯学習課長** 各中学校の部活動の構成人員は人数が減ってきて、競技によつては、学校の中でも廃部であるとか、新規の部員の募集を停止するといった状況が見込まれる状況です。

地域移行の実現に向けて

**問** 中学生は多感な時期というか青春の入り口で、夢に向かうことができるよう取り組んでほしいと思う。岩沼市はこの地域移行実現をどうやったらできるか伺う。

**教育長** 岩沼モデルで行っており、来年も学校によつては2つほど部がなくなりそうです。総合体育館を中心に進めていきたいと思っています。

**問** 部活動は人とのコミュニケーションを増やす。年代の差を超えているいろいろな人たちとの関わりを中学校や高校で養っていくことだが見解を伺う。

**教育長** 子どもたちの自由、選択、そしてその場をどう確保していくのかだと思えます。

◎その他の一般質問  
・敬老祝い金



出産・子ども・子育て支援

高梨 明美



**問** 核家族化、地域のつながりの希薄化、共働きの増加、初婚年齢や出産年齢の高齢化、出生数の減少など、近年の子育て状況は祖父母世代が結婚、出産したときと比べて大きく変化をしている。また、時代の変化とともに育児の常識も変わってきている。祖父母が孫育てをするメリットや子育ての新常識、昔と今の子育ての相違点など孫育てへの最新情報を知ることにより、安心した孫育てにつながることを考える。そこで、祖父母手帳を作成してはどうか伺う。

**子ども福祉課長** 祖父母の孫育て支援は、父母の子育て支援の側面もあり、最新の子育て情報等を提供することは、安心した子育ての一助となると考えていますので、祖父母手帳の作成について検討したいと思えます。

出産・子育て応援交付金

**問** 2022年度第2次補正予算が、12月2日の参院本会議で可決成立した。その中で、子育て支援策については、出産・子育て応援

交付金事業が新規事業として予算化された。核家族化が進み地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦、子育て家庭も少なくない。全ての妊婦、子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題である。岩沼市のこれまでの取り組みを生かしながら、いち早くこの事業に取り組んではどうか伺う。

**健康福祉部長** 今後、国からの詳細説明があり、市としてどのような形で伴走型支援、そして経済的支援を行うかを決めて、実施するところになつていきますので、可能な限り早い段階で実施したいと思えますが、ある程度時間が必要かと考えています。

**問** 市長の考えを伺う。

**市長** 部長が申し上げたとおり、できるだけ早く国の方針にのつとつて、迅速に対応できればと思つています。

◎その他の一般質問  
・がん対策